

(別添1)

## オプトアウト

「深部静脈血栓症の診断における可溶性フィブリンモノマー複合体の有用性の検討」に関する研究について

公益財団法人天理よろづ相談所病院臨床検査部では2020年1月から2025年12月までの期間に凝固線溶検査を受けられた患者さんの残余検体を用いて研究を実施しております。本研究についてご質問等ございましたら、最後に記載しております「問い合わせ窓口」にご連絡ください。

### □研究名

「深部静脈血栓症の診断における可溶性フィブリンモノマー複合体の有用性の検討」

### □研究背景・目的

可溶性フィブリンモノマー複合体(SF)は、血液が固まる(凝固)ときに形成される物質であり、血の塊(血栓)ができやすさを反映する検査として活用されています。我々はSFと深部静脈血栓症(下肢の静脈に血栓ができる病気)との関連性を検討し、深部静脈血栓症の早期診断および病態把握への有用性を明らかにするために研究を行っています。

なお、本研究は積水メディカル株式会社との共同研究です。

### □取り扱う資料および診療情報

凝固線溶検査用に採血された残った検体(残余検体)を使用させていただきます。

使用する診療情報は性別、年齢、基礎疾患、症状、抗凝固療法の有無です。

### □個人情報保護の方法と管理

使用する診療情報は連結可能匿名化(暗号化)した後、研究に利用します。情報管理は臨床検査部内個人識別情報管理者(技師長 嶋田昌司)が実施する

### □倫理上配慮すべき事項

本研究は診療目的に採血された残余検体を用いるため、患者さんの負担になるような行為はありません。

本研究は(公財)天理よろづ相談所病院倫理審査委員会にて、研究に参加される方の安全性の確保、科学性に問題がないかについて倫理審査を受けており、承認を得て実施されています。

□研究成果の公表について

研究の成果を検査の向上・発展のため、学会に公表することがありますが、患者さんの残余検体および診療情報は連結可能匿名化(暗号化)されていますので、第三者・本研究担当者に患者さんの情報が明らかになることはありません。

□研究への残余検体および診療情報使用の取り止めについて

取り止めを希望される場合には、「問い合わせ窓口」にご連絡ください。希望を受けた場合、患者さんの血液および診療情報を本研究に用いませぬ。取り止めることによる不利益はこうむりませぬ。

□問い合わせ窓口

この研究についてのご質問は、

天理よろづ相談所病院 臨床検査部 部長 上岡 樹生 連絡先 0743-63-5611  
にお問い合わせください。

研究責任者

天理よろづ相談所病院 臨床検査部 吉岡 明治

個人識別情報管理者

天理よろづ相談所病院 臨床検査部 技師長 嶋田 昌司